

社会人のためのCSR講座

～社会貢献が社員と会社を元気にする～

監修：高 巖 氏（麗澤大学 国際経済学部 教授）

第一部 導入編

企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility）を理解し、従業員一人ひとりが、これからの企業、そしてCSR推進の当事者としてのあるべき姿を考えるための講座です。これからCSRを学ぼうとする方をはじめ、就職内定者や新入社員研修等にも最適です。

- CSRは企業と社会の価値を高めます
- CSRの学習には変化する社会・環境問題の理解が不可欠です
- よき企業人になるには、よき社会人となることが不可欠です
- CSRの定着には、基礎概念や背景となっている考え方の理解を通じた行動が重要です
- 本講座では「考え、行動するCSR」の基礎が学べます

自社独自のカスタマイズができます

経営メッセージ、理念、自社の具体的活動事例を盛り込んだカスタマイズが可能です。
別途ご相談ください

eラーニング

8月販売開始

価格
お問い合わせください

- 仕様
- ・学習画面
（テキスト/ナレーション/図表等で構成）
 - ・標準学習時間 40分
 - ・受講者管理機能付き
 - ・動作環境 Internet Navigware (7.0)



社団法人 日本フィランソロピー協会
〒100-0005東京都千代田区丸の内 2-6-1 古河ビル618
TEL: 03-5252-7580 FAX: 03-5252-7585
E-mail: csr@philanthropy.or.jp
URL: <http://www.philanthropy.or.jp>

この講座は、アクセンチュア株式会社の協賛により制作致しました



社会人のためのCSR講座

～社会貢献が社員と会社を元気にする～

監修：高 巖 氏（麗澤大学 国際経済学部 教授）

第二部 実践編

企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility）の精神を根付かせ、従業員一人ひとりの行動に反映していくための社会貢献活動を考え、実践につなげる講座です。CSR、社会貢献活動の担当者など実務にかかわる方、管理職研修等に最適です。

- ▶ 社会貢献活動に豊富な知識を有する日本フィランソロピー協会の経験を結集した教材です
- ▶ 「コンプライアンス（法令順守）」から一歩抜き出たCSRを実践することにより、企業の活力と社会評価が高まります
- ▶ 具体的な事例の紹介・分析を通して、社会貢献プログラムの計画から実践、評価、報告までの一連のプロセスが学べます

自社独自のカスタマイズができます

経営メッセージ、理念、自社の具体的活動事例を盛り込んだカスタマイズが可能です
別途ご相談ください

eラーニング

近日販売開始予定

価格
お問い合わせください

- 仕様
- ・プラットフォーム：Internet Navigware(V7.0)
 - ・自習教材（テキスト／ナレーション／画像／動画で構成）
理解度チェック問題付
社内教育等で必要な受講管理機能も付加
 - ・標準学習時間 40分



社団法人 日本フィランソロピー協会

〒100-0005東京都千代田区丸の内 2-6-1 古河ビル618

TEL: 03-5252-7580 FAX: 03-5252-7585

E-mail: csr@philanthropy.or.jp

URL: <http://www.philanthropy.or.jp>



CSR（企業の社会的責任）は、消費者や市民が自らの社会的責任に目覚めることが大前提です。CSRとは企業の社会的責任であると同時に、市民の社会的責任でもあります。この講座でCSRの基本から実践までをしっかりと学習し、一人でも一社でも多くの企業が社会の抱える問題を直視し、CSRに取り組まれることを切望しております。

内 容（予定）

第一部 導入編

CSRの必要性や基本的な考え方を、広い視点からわかりやすく学べます。

はじめに

第1章 社会構造の変化と持続型社会の構築

- 1-1 変容する世界の社会構造と課題
- 1-2 情報化社会とグローバリゼーション
- 1-3 環境、人権保護気運の高まり
- 1-4 日本の社会における構造的閉塞感の進展
- 1-5 持続型社会の構築

第2章 企業環境の変化

- 2-1 企業環境と雇用形態の変化
- 2-2 消費者マインドの変化 - QualityからQuality & Ethicsへのシフト
- 2-3 投資家マインドの変化 - SRI

第3章 CSR 企業に期待される社会的役割

- 3-1 企業とステークホルダー
- 3-2 トリプルボトムライン - 企業活動にとっての社会貢献と環境保護
- 3-3 企業の社会的責任 CSR
- 3-4 サプライチェーンとCSR

第4章 企業と社会とのコミュニケーション

- 4-1 CSR活動における様々な基準
- 4-2 社会とのつながりを求めて

第5章 企業における社会貢献のあり方

- 5-1 企業の社会貢献活動の変遷
- 5-2 21世紀の企業倫理と社会貢献（コンプライアンスから社会貢献へ）
- 5-3 コミュニケーション・ツールとしての社会貢献活動

【お問い合わせ先】

社団法人 日本フィランソロピー協会
〒100-0005東京都千代田区丸の内 2-6-1 古河ビル618
TEL: 03-5252-7580 FAX: 03-5252-7585
E-mail: csr@philanthropy.or.jp
URL: <http://www.philanthropy.or.jp>

CSR（企業の社会的責任）は、消費者や市民が自らの社会的責任に目覚めることが大前提です。CSRとは企業の社会的責任であると同時に、市民の社会的責任でもあります。この講座でCSRの基本から実践までをしっかりと学習し、一人でも一社でも多くの企業が社会の抱える問題を直視し、CSRに取り組まれることを切望しております。

内 容（予定）

第二部 実践編

CSR・社会貢献担当者が自社での活動を推進する際に、必要な情報やノウハウを中心に構成されています。企業事例を交えながらわかりやすく解説し実践的な内容となっています。

はじめに

第1章 社会貢献を通じてステイクホルダー満足度を高める

- 1-1 企業が社会貢献活動に取り組む意義
- 1-2 マネジメントの役割と責任
- 1-3 社員の意識改革と職場の活性化

第2章 社会貢献活動のための準備

- 2-1 活動目的とステイクホルダーの明確化
- 2-2 自社と社会の現状を分析
- 2-3 社会貢献活動の位置付け
- 2-4 社会貢献活動の三本柱
- 2-5 必要に応じた社内体制の構築
- 2-6 社員のボランティア活動支援

第3章 社会貢献活動の実践

- 3-1 活動のメニュー
- 3-2 活動プログラムの作成
- 3-3 NPO / NGOとのパートナーシップ
- 3-4 社員の積極的な参加の仕掛け

第4章 社会貢献活動の評価

- 4-1 PDCAサイクル
- 4-2 活動の記録
- 4-3 評価方法のメニュー / 評価基準の明確化

第5章 ステイクホルダーとのコミュニケーション

- 5-1 コミュニケーションの重要性
- 5-2 社内外のコミュニケーション

【お問い合わせ先】

社団法人 日本フィランソロピー協会
〒100-0005東京都千代田区丸の内 2-6-1 古河ビル618
TEL: 03-5252-7580 FAX: 03-5252-7585
E-mail: csr@philanthropy.or.jp
URL: <http://www.philanthropy.or.jp>